

筑波大学新聞

第248号

編集責任 筑波大学新聞 編集委員会 委員長 嶺 委員長 嶺 TEL: 029(853)2040・6699 E-mail shimbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp 月刊

発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天万台1-1-1

紙面から

吉池後任 ホットスパイなど3社に決定
 動脈硬化のメカニズム 範助教授了解明
 反射鏡 総選挙終わって一言
 柔道全日本学生 3冠念願の初優勝
 静脈認証 18日から登録開始
 第31回雙峰祭 TX効果 雨でもにぎわう

11 10 9 5 4 2
特集 6,7
 学類卒論事情
 千差万別・個性溢れる

ミニ特集 3
 社会貢献プロジェクト
 つくばの未来を育む

地調査を行うが、その中に学生宿舎も含まれている。現地調査は、施設部の職員が一部屋ずつ劣化状況を目視点検する。特に劣化が進んだ部屋は、大気中の濃度を測定を行う。

学生、教職員に対して9月27、28の両日、3回に分けて説明会を開いた。学生教職員あわせて400人が参加。「アスベストを使用していた機械室で長年勤務していた職員に対して健康診断を行うのか」「構成員がアスベストによる健康被害を被ったことが明らかになった場合、大学は補償をするのか」などの質問が出た。

説明会に参加した千代延浩子さん(人文系)は「全席は橋掛かりの正面にある脇正面。狂言は「何となく内容がわかるから大丈夫」と聞いていたが不安だった。実際は酒を何度も飲む狂言師の演技に思わず笑ってしまっていた。能は狂言と違って、笑うこともなく静かだった。目の部分だけ、わずかに5ミリしか空いてない能面をかぶって舞う能楽師に魅入った。舞台の構造や素材について、日本芸術文化振興会の人に質問すると丁寧に教えてくれた。食堂のおじさんも人気の弁当のほか、「野村萬斎さんは麵類をよく食べているよ」とこっそり教えてくれた。授業は日本語・日本文化学類生を対象に、2年に一度2学期に開講される。定員は約30人だが、今年度は倍近い希望者があり、結局1、2年生は受講できなかった。来週18日は歌舞伎座で十月大歌舞伎座の演目を見る。演物は「廓三番目」加賀見山田錦絵。坂東玉三郎や尾上菊五郎らが看板。玉三郎が出るのでぜひ見に行くべきだ」と先生が熱く語っていた。つくばエクスペリエンスが開通して、国立能楽堂まで1時間弱で行けるようになった。古典芸能がもっと身近になったような気がする。

アスベスト大気中濃度

5カ所 基準値下回る

学内265棟で目視点検 学生教職員 補償、検診など質問集中



説明会 補償、検診など質問集中

30年から40年の長い潜伏期間を経て、がんの一種である中皮種の病因になることから大問題となっているアスベスト(石綿)の使用状況について、大学は調査を始めた。9月20日、記者説明会を開いて発表した。調査対象になるのは、学生宿舎や研究施設を含む265棟、うち39棟で使用されている可能性が高いことが判明した。

大学は9月15日にアスベスト対策連絡会(座長は岡本健一環境安全管理室長、数理工学教授)を設置し、劣化状態が自立した5カ所期間を経て、大気中のアスベスト濃度を測定した。対象となったのは宿舎2室の天井と第一学群棟教室、中央機械室など。その結果、大気汚染防止法が定める基準値(10μg/m³以下)を大幅に下回る0.0~1.9μg/m³であることがわかった。宿舎の測定値は0本と0.179本。同連絡会は今後引き続き、アスベストの使用規制が強化された96年以前に建築された729棟全棟で目視点検する。点検の結果、劣化状況や経年変化から早

「役所仕事から脱却へ」

業務改善推進本部が始動

大学運営の実質化・効率化を図るため、教職員の業務の質向上を目指す業務改善推進本部(本部長は岩崎洋一学長)が10月6日設置され、第一回本部会議を開いた。

同本部は法人化から1年半が経過し、国立大学法人としての運営体制・システムが整ってきたことを受けて、業務の全学的な見直しに取りかかる。来年の3月までに業務改善実施計画を策定し、来年4月から本格的に実施する。業務改善活動は本学としては初めて。「教職員が教育・研究・社会貢献に一層専念できる環境を確保し、さらなる発展を目指す」と岩崎学長(本部長)は、冒頭であいさつした。

本部は、岩崎学長以下、腰塚武志副学長(組織・人事担当)と磯田文雄(財務・施設担当)が副本部長を務める。さらに、各部署・事務局各部の現場から比較的若手の職員を構成員とする業務改善策検討WG(主査は腰塚副学長)を設置する。WGは、実務者の視点から全学に共通する業務改善施策を検討する。

これらの検討結果を12月下旬をめどに集約する。これをもとに来年3月までに具体的な実施計画を策定し、4月から本格的な実行を始める。本部は4月以降少なくとも1年間は設置される。計画実行の補助、推進をすることになる。

国立大学法人評価委報告書

学長「一定の評価を受けた」

国立大学法人評価委員会(9月16日、平成16年度)は9月16日、平成16年度の業務実績に関する評価結果を発表した。

全体評価では、12の年度重点施策を定め、課題として、

「具体的な検討項目、期日、責任者を明確にしていること」
 「外部資金の獲得強化を積極的に推進したこと」
 「属病院の経営改善などに触れ、「評価できる」とした。

項目別評価では、企業とのリエゾン活動で、受託研



女祭り 初お目見え

第31回雙峰祭のフィナーレを飾る後夜祭の10月10日、UNIT Eステージ前右の広場で行われた女祭り初お目見え。昨年から始まった女祭りの向こうを張って登場した女祭りは、公募で集まった比文、社生などの18人参加者は皆、初心者だったが、1カ月前から練習の毎日。週3回はダンス部員から指導を受ける程の熱の入れようだった。

女祭りに先立って男祭りが氣勢を上げた。20人の男子学生が六尺ふんどし一丁で踊りを披露した。こちらも1カ月の練習。本多正純さん(自然系)は「来年も僕おとこ」になりませ」と笑顔で語っていた。(撮影・斎藤竜太、比較文化学類)

杉村太蔵議員

初の本学出身 代議士が誕生

元体育専門学生で、04年に本学を自主退学した杉村太蔵氏(26)は自新IIが9月11日に行われた第44回衆議院議員総選挙で、南関東比例区から立選した。本学OBで、国会議員になったのは昨年7月の参院選で当選した足立信也議員(48)以来2人目。衆議院議員は杉村氏が初めて。

杉村氏は98年に体育専門学群に入学した。04年同学群を自主退学し、今年からドイツ証券会社東京支店(東京・千代田区)に勤務していた。

1年次には硬式テニス部に所属していたが中途退部している。

筑波大学

9月16日、東京・千駄ヶ谷の国立能楽堂で初めて能と狂言を鑑賞した。日本語・日本文化特講という授業の一環だ。この日の演目は能が「蟬丸」、狂言が「酒講式」。午後6時半、狂言から始まった。席は橋掛かりの正面にある脇正面。狂言は「何となく内容がわかるから大丈夫」と聞いていたが不安だった。実際は酒を何度も飲む狂言師の演技に思わず笑ってしまっていた。能は狂言と違って、笑うこともなく静かだった。目の部分だけ、わずかに5ミリしか空いてない能面をかぶって舞う能楽師に魅入った。舞台の構造や素材について、日本芸術文化振興会の人に質問すると丁寧に教えてくれた。食堂のおじさんも人気の弁当のほか、「野村萬斎さんは麵類をよく食べているよ」とこっそり教えてくれた。授業は日本語・日本文化学類生を対象に、2年に一度2学期に開講される。定員は約30人だが、今年度は倍近い希望者があり、結局1、2年生は受講できなかった。来週18日は歌舞伎座で十月大歌舞伎座の演目を見る。演物は「廓三番目」加賀見山田錦絵。坂東玉三郎や尾上菊五郎らが看板。玉三郎が出るのでぜひ見に行くべきだ」と先生が熱く語っていた。つくばエクスペリエンスが開通して、国立能楽堂まで1時間弱で行けるようになった。古典芸能がもっと身近になったような気がする。

ホットスパーなど3社に決定

後任 夜11時半まで営業 売店 食堂 選手用メニューを約束

学生宿舎の食堂や浴場、売店などを運営してきた吉池サーブ(本社つくば市天久保)が11月24日に撤退することを受けて、10月13日の厚生会理事会で後任の委託企業の選定を行った。その結果、3社に委託することを決め、今後は11月25日の業務開始に向け、契約内容を詰め、大学として希望する業務内容を具体的に提示する。

宿舎食堂と浴場業務は、大学の食堂を手がけるEXサーブ(本社千葉県野田市)に決定した。体芸食堂は、一の食堂を運営する八誠総合サーブ(本社東京・北区)、売店業務は、ホットスパー・コンビニエンスストアワークス(本社土浦市)に委託する。選定作業は企業側から提出された企画書をもとに▽低価格設定▽営業予定時間—の2点を重視して行われた。

浴場業務を希望するEXサーブは、宿舎食堂も兼営する。大学会館や第二学群の喫茶店を受託している実績が決めた手になった。同社は、浴場の女性スタッフを増員し、回数券制度を導入することなどを検討している。全学学群・専門学群が6月に行ったアンケートで最も不満の多かった衛生状態の改善にも力を

食堂として使われている場所を売店に転用する。同地区の居住者は、平砂地区の食堂に行かなければならぬ。同社は追越、一の矢のみの店舗展開を希望しており、平砂については、今後さらに協議を進める。昨年度から厚生会理事会で重要課題となっている体芸食堂業務の受託を希望する八誠総合サーブは、朝食やスポーツ選手用メニューを用意する。筋力や体力増加に適したメニューも考案中だ。学生生活課は「浴場業務の改修工事は時期を見て行いたい」と説明する。食堂、売店業務については、吉池サーブ撤退後、短期間だが停止の可能性もあるという。

OBの楢原さん犠牲に 基礎工卒 恩師、友人惜しむ

3万人を超す死者を出した10月8日のパキスタン地震で、本学卒業生の楢原寛さん(平成4年基礎工学科、現工基礎卒業、平成6年工学研究科修了)の死亡が確認された。楢原さんは、国際協力機構(JICA)の職員。イスラマバードの12階建てマンションの1階に家族で住んでいたが、M7.7の地震で倒壊、同日長男の輝(ひかる)ちゃん(2歳)とともに死亡が確認された。妻ひろみさん(34)も骨折しており、病院に搬送されたという。指導教員だった長谷川文夫・元物理工学系教授(平成16年退職)は、「おとなしく、礼儀正しいが存在感のある学生だった」という。修士在学中に受けていた奨学金の推薦状には、「生活態度も慎ましく、研究熱心な学生」と書かれていた。学群生時代は宿舎祭実行委員会に所属し、2年次には設備部局長を務めた。高校時代からの友人で楢原さんと一緒に宿舎祭実行委員を務めたOB赤松学さんは「思いやりのあるいい奴だった。今の仕事にやりがいを感じて、意欲を持ってパキスタンに赴任したのに」と声を震わせた。楢原さんは工学研究科修了後、神戸製鋼(本社兵庫県神戸市)に就職した。阪神大震災で被災した後、00年に海外青年協力隊に参加し、帰国後JICAに就職した。都市廃棄物対策の専門家として03年10月からパキスタン環境保護庁に派遣され、今年19日に任期を終える予定だった。

研究科に新設4専攻

来年度 来年度概算要求に、新専攻の設置が4件盛り込まれた。修士課程では人間総合科学研究科と教育研究科に各1件、人間総合研究科の後期3年の博士課程で2件の計4件の、新しい専攻の立ち上げを要求した。

医学研究科の修士課程では、従来の医学専攻を廃止し、改組・再編してフロンティア医学専攻を新設する。博士課程との関連性を強めたカリキュラム編成とし、学類から博士課程までの一貫した教育を可能にする。修士課程修了後、

7国・私大と共同申請 「高度教員研修」プロ、採択

より高い専門性と指導力を持つ教員を養成する領域・大学間連携による高度な教員研修の構築」が採択された。今年度は全国から101件の申請があり、うち34件が採択された。各プロジェクトへの補助金額は、10月末までに決定される。同プロジェクトは、東北、

来年度 フロンティア医学など 概算要求

博士課程に進学する学生が4割を超える実情に対応している。博士課程後期3年のコアニング専攻では、スポーツのコーチングに関する経験と、高い研究能力を養う。実務型の博士を育成することが目的だ。

博士課程後期3年の世界文化遺産専攻は、国内外の文化遺産を保護、管理する人材の育成が目的。今年、修士課程芸術研究科の世界遺産専攻が2年目を迎える。文化遺産を保護する人材が世界的に不足している

「高度教員研修」プロ、採択

大学と共同で申請した「一円」を確保し、高度な教員研修の構築」が採択された。今年度は全国から101件の申請があり、うち34件が採択された。各プロジェクトへの補助金額は、10月末までに決定される。同プロジェクトは、東北、

7国・私大と共同申請 「高度教員研修」プロ、採択

より高い専門性と指導力を持つ教員を養成する領域・大学間連携による高度な教員研修の構築」が採択された。今年度は全国から101件の申請があり、うち34件が採択された。各プロジェクトへの補助金額は、10月末までに決定される。同プロジェクトは、東北、

国際連携戦略 連携室が公表

国際的な教育と研究をさらに発展させるため、国際連携室(室長 辻中豊教授)が「知」のネットワークと「文明発祥地帯」の結び目として活性化させる役割を担うと位置づけられている。

国際連携のための人材育成のタスクは、国際機関・企業から職員を積極的に受け入れ、学生の国際インターンシップ制度導入を進める。地球文明発祥地帯」からの留学生を積極的に受け入れるとともに国際フィールドワーク用に奨学金を設立する。大学院でのバイリンガル教育の徹底などが盛り込まれている。

辻中室長は「ポリシー・パーに沿って国際連携戦略を二層推進していく」と意欲を語った。

ナシたわわ

品種は大きいことで人気の新高(11日、農林技術センターで)



登さん 新会社を設立 大学発ベンチャー企業 学生向けサービス提供も

登大遊さん(情報3年)が社長を務める大学発ベンチャー企業「ソフトウェア」(本社つくば市、資本金310万円)が新システム「次世代VPNシステム」の企業向け販売を11月30日から開始すると発表した。これに向け、同製品の販売や窓口業務を担当する子会社「ソフトウェア」(本社東京千代田区)を設立した。新会社はソフトウェアが50%を出資。代表取締役社長には、ソフトウェアに取組むベンチャー校管理、教育指導に関する研修を7校で行う。年度ごとに複数の拠点で実施し、多くの教師が参加できるように工夫する。また、週末や長期休業中に開催時期を設定し、参加者が勤務しながら全国レベルの研修を受けることができるようにする。

附属学校教育局の谷川彰英・教育長は「連携講座を通じて、学校現場と協力した教育研究が可能になる。小・高校の教員だけでなく、大学教員にも還元できる研修プログラムの開発を目指す」と話した。

企業ビレッジセンター(東京都千代田区)の中村満氏が就任した。登さんも役員を務める。

前システムの「ソフトウェア」はウィンドウズ版のみ対応したものであった。新システムはマッキントッシュ、リナックスなどのOS(基本ソフト)にも対応する汎用性をもつ。アクセス制限も強化し、安全性を高めた。

VPNは、LANを使わず、インターネット上でネットワーク構築が出来るシステムだ。これを利用すれば、学外からサインズや大学が所有する論文データベースにアクセスすることも可能になる。

前システムの企業向け販売は、独占契約を結んだ三菱マテリアのみが行ってきた。大学発のベンチャー企業が大企業の実質上の子会社になっていた。これを避けるため、販売専門の新会社を立ち上げた。新システム以降の販売は、ソフトウェア以降の販売は、ソフトウェアで行う。

現在は、学術情報メディアセンターと共同で学内ネットワークの改善に取り組んでいる。VPNを使って学生向けにサービスを提供する予定だ。登社長は「10、11月に実験を行い、来年1月から提供を開始したい」と話している。

FDフォーラム 本学の授業評価(FD)はアカルティ・ディベロップメント)について、教員と学生が議論を交わすFDフォーラムプログラムが10月8日午後7時から、第一学群棟1D204講義室で開かれた。豊隆の学研企画の一つとして催され、全代会を中心に学生が参加した。教員は、林典典副学長(教育担当)らが参加した。第一部では、学群教育室の清水一彦教授が、今年度からTWINsを利用して全学的な授業評価を始めたこと、これまでの経緯などについて説明した。第二部では各学群・専門学群のFDに関する取り組みが紹介された。全学に先駆けてFDを導入した生物学類の取り組みなどが注目を集めた。

最後の質疑応答では佐藤忍教授(生命環境)から「2年生が回答するメリット・デメリットを設けるとしたら、何が望ましいのか」と提案があった。学生からは「掲示板が活用されていないので履修申請以外でツイートを活用しない」とツイートを活用する意見が出た。



登 大遊さん

社会貢献プロジェクト

つくばの未来を育む

筑波山を中心とする文化資源再生プロジェクト

市内には筑波山神社の太刀や小田城跡といった国指定文化財を含めて100を超え有文化財がある。波多野登雄研究科長は「昨年6月から市と懇談を重ね、人文社会の分野での貢献に貢献し、考えた」と話す。

市の新たな魅力引き出す

計画の第一段階として、文化資源の調査や発掘を行う。担当するのは歴史や宗廟の観光ツアーを計画している。「仏像の手印や髪人の教員。調査結果は、年表やパネルにまとめ、生涯学習の場として活用する。中世史を専攻する今井雅也が配分された。市の分担金も調整中だ。」

先端の科学技術が強調される反面、歴史的遺産や文化財など固有の文化が活かされていない。つくばは市のこうした現状を打開しようと、人文社会科学研究科は文化資源を復興させるプロジェクトを進めている。



県指定天然記念物の一の矢の大きき。大学から近いところにも貴重な文化資源がある。

持ってもらえればと話す。活動の成果を利用し、観光拠点としてのビクターセンターの設置も検討している。芸術学系の安藤邦廣教授(人間総合)は観光資源を調査し、それに相応しい施設の建築計画を立てている。市内の古民家を利用する予定で、実現すれば博物館やイベント開催地などの機能を持つほか、宿泊施設としても利用できる。

市内の企業との連携によるインターンシッププログラム

キャリア支援の南就将助教授(数理物質)と就職課は、つくば市内の企業によるインターンシッププログラムの構築を進めている。現在、インターンシップを希望する学生は、東京まで出掛けなければならない。この不利な状況を改善し、本学生の知識や能力を、地元、つくば市で活かさないかと、取り組みが始めた。



東京まで就職説明会に行く学生。つくば市に就職先を求め人は少ない

キャリア支援の南就将助教授(数理物質)と就職課は、つくば市内の企業によるインターンシッププログラムの構築を進めている。現在、インターンシップを希望する学生は、東京まで出掛けなければならない。この不利な状況を改善し、本学生の知識や能力を、地元、つくば市で活かさないかと、取り組みが始めた。



油田信一副学長

いずれは学生も対象に

大学の社会貢献事業は教育や研究の背景をなすもの。うまく折り合いをつけて、大学の独りよがりではない、地域が必要としている活動をしてほしいと望ましている。

つくば市における子育て支援ネットワーク

つくば市では、多くの子育てサークルが活動している。転勤族が多く、交流を求め傾向が強い。だが「団体同士」のつながりが薄い。もっとお互いの情報を共有したい」という声は絶えない。

飯田浩之助教授(人間総合)は04年11月、市内の子育てサークルや地域子育てセンターと協力し、つくば子育て支援ネットワーク「かろがも」を立ち上げた。教育のための調査が容易になる。地域にとっては、活発な情報交換が可能になる。

飯田助教授は「一方的に情報を流すのではなく、気軽に情報を交換できる関係を築くことが大事」と話す。学習会の度に、飯田助教授の研究室の院生が編集している。

パートナーシップによる地域の「グリーンライフ」支援

今年度は竹園西小学校と小野川小学校の一部などを植えた品種見本

プロジェクトを立ち上げたのは林久喜助教授(生命環境)を中心とする農林技術センターの教職員だ。予算は65万円が配分されればと期待する。



サクランソウの芽分けをする学生

選考に携わったワーキンググループの一人、油田信一(研究・産官学連携)の話。プロジェクト設立前から教員の多くが知識や経験を地域社会に役立ててきた。法人化をきっかけに大学が社会貢献を推進していくことにより、隠れた活動に目当てになるようになったという。

大学の人的資源や設備を地域に提供するため、昨年度から社会貢献プロジェクトが始まった。今年度も新規課題10件、継続課題8件が採択されている。地域における文化資源の再生や子育て支援。教職員が提案して実施する活動の一端を紹介する。(本紙・清原碧川社会学類、城下めぐみ)日本語・日本文化学類)



つくばスタイルフェスタでは、子育てサークルのピラを配布した

毎月サークルの代表者約20人が集まり、桜庁舎の会議室で学習会を開く。これまで、保育所で子どもを預かる一次保育事業について学んだ。各サークルが活動内容や提案を発表したこともある。「サークルにも補助金があつていいのでは」「広報のシステムを作りたい」と活発な意見が出た。一番の目的は顔を合わせ、お互いを知ることだ。

たニュースレターを発行する。学習会で話し合った内容やサークルの紹介などが掲載されている。社会的認知度を広げるため、今年度はイベントにも積極的に参加した。研究学園駅で開催中の、つくばスタイルフェスタでは、17日まで「かろがも」の専用ブースを設けている。現在は幼稚園や保育所、サークルを対象に「子育て資源調査」を進めている。

小・中学校の総合学習の時間を使い、教員や児童生徒にアワ、ヒエ、キビソバの雑穀4種とイネの計5作物を育ててもらった。使用するのは遺伝資源として本学が保有する種子だ。大が独自に行ってきた品種保存に市民にも一役買ってもらうというのだ。

が参加している。5月末には林助教授らが竹園西小を訪れ、3時間かけて児童と一緒に約30平方メートルの畑を作った。栽培に必要な肥料や防鳥網などの資材は本学から貸し出す。耕うん機で土を起し、黒いマルチフィルムを張った畑に児童が種を蒔いていった。

園を設置している。来年には、インターネットで24時間作物を観察できるようにしたいという。品種改良を進める上で重要なのは、育種材料となる

雑穀から、食を考える

遺伝資源だ。これまで同センターの教職員が植物を栽培し、種子を増やして保存してきた。今回のプロジェクトによって、保存活動の新しいシステムが開発された。同時に「社会貢献をしよう」という参加者の意識を高めることができるのではないかと林助教授は考えている。

分野の壁越え芸術楽しむ

「秋のスタイルつくば」開催中

市民の「つくば百景」も選定

本学の芸術系組織創設30周年とつくばエクスポレックスの美術館が10月11日(土)の開催を祝って、「秋のスタイルつくば」を開催している。

「秋のスタイルつくば」の魅力は、分野の壁を越えて、様々な芸術作品に触れられることだ。目玉となるのは、里山芸術展とワークショップ「MYつくば百景」。里山芸術展では、つくば市の旧民家を移築し、再利用した古民家再生住宅を展示会場に、日本画を専



再利用した古民家で襖絵に見入る市民(つくばスタイルフェスタ会場で)

攻する学生が襖絵、洋画を専攻する学生が壁画を描くなど、生活空間に芸術を取り入れた。他にも、筑波山や古民家、本学を同時にライトアップする企画も行われ、学園祭の期間中は午後5時半から9時まで、エキスポセンター、天久保地区などに4キロワットサーチライトを使用して、夜空に光の柱を立てた。

ワークショップ「MYつくば百景」では、期間中の毎週日曜日に、本学の教員を中心とした研究者と市民が「現代に蘇る万葉のつくばの風景」などをめぐってトークセッションを行う。市民が「つくば百景」を選ぶワークショップも開催され、結果はガイドブックとして出版される予定だ。この「つくば百景」は、市民が「つくば百景」を選

動脈硬化のメカニズム

C反応性蛋白が関与

動脈硬化のメカニズム

先端学際領域センター(TARA)プロジェクトの範江林・助教(人間総合の病理研究グループ)は、肝臓から分泌されるたんぱく質の一種、C反応性蛋白(CRP)の分泌量が、動脈硬化の発生頻度に強く関連していることを突き止めた。9月21日の記者説明会で発表した。米国の病理学雑誌「アメリカン・ジャーナル・オブ・パソロジー」(JAP)に掲載される。

これまで動脈硬化は喫煙や飲酒、高カロリーの食事などによる高脂血症や高血圧、糖尿病などによって引き起こされると考えられてきた。動脈硬化が発症するメカニズムを20年以上研究してきた範江教授は、03年、実際に動脈硬化を発症した8万7千人以上の患者を調査した。すると全患者の2割が、これらの疾患にかかっておらず、喫煙もしていないという結果を得た。

原点



電子工学を専攻していた私が政治史や外交史を専門とするようになったのは何故か、と問われることがよくある。その都度、「本質的に理系に向いていないと気付いたからだ」と答えている。

しかし、事情は少し異なる。私が最初に学んだ防衛大学は国立の工業大学と大差はなく、リベラルな校風を誇りとしていた。工業高校電気科出身であった私は躊躇なく電子工学を専攻し、そう

資料の海との格闘原点に 「合理的」決定の悲劇を解明



波多野 澄雄

した校風にもすぐに馴染むことができた。しかし、激しさを増していた外界の学生運動は社会変革の中核となつていくかに映り、理系一本槍であった私にとって大きな衝撃で、私にとって大きな衝撃で、論と必然論の「真」とな

は、マクロな構造論と必然論の「真」から私を解放し、ミクロな政策決定分析という方法に私をいざなうことになった。最初のつたない成果が留学中の日米開戦の研究

比較は政府部内でも度々行われ、いずれも圧倒的な格差を示していたが、それが戦争回避に作用することにはなかった。それは何故だろうか。その後、私の研究領域は広がり過ぎてしまったが、一年余の史料との格闘は良くも悪くも私の原点であるようだ。

はたの・すみお 1947年生まれ。社会科学系教授。慶応義塾大学法学研究科修了後、防衛研究所を経て88年から本学助教。戦後日本のアジア外交、20世紀の戦争とその遺産を研究。92年に吉田茂賞受賞。



國安 孝昌

たすめば、絵が語りかけてくれる」と誰も疑っていません。本日は専門家の私でも黙って虚心にたすめんでも絵は解らないので、満足せず、個々の知的関心、興味に促されて自発的に自らの専門性を築き上げてゆける実力者であると感じています。芸術の世界も真の意味での独立・独学精神が新たな価値を生む知的世界です。

知的という疑問をお持ちの方もいるかもしれませんが、芸術は感性感覚の世界ではないかと。そうですね、私も、日本の芸術と文化を一番賞しくしているのは、絵は「心を虚しくして無心に作品の前にたいてい、私一人ですが、残りの九千九百九十九人は勉強すればよいのです。勉強すれば芸術はその豊かさを私たちに享受させてく

意気込んでいます。本学大学院へ進学し、プログラム研究者を目指す予定です。「自分のプロジェクトをどう説明すれば採択者に伝わるか、そこに苦労した」と話す。

未踏ソフトウェア創造事業

水島さん(4年)のソフト採択へ



水島宏太さん

「ス」に水島宏太さん(情報4年)のプロジェクトが採択された。

水島さんのテーマは「統合開発環境エクリプスのスクリプト言語用ライブラリの開発」。従来、プログラミンクには編集、エラー除去、翻訳の3つの作業が必要だった。これらの作業をサポートする05年度未踏ソフトウェア創造事業「未踏ユース」に水島宏太さん(情報4年)のプロジェクトが採択された。

水島さんのテーマは「統合開発環境エクリプスのスクリプト言語用ライブラリの開発」。従来、プログラミンクには編集、エラー除去、翻訳の3つの作業が必要だった。これらの作業をサポートする05年度未踏ソフトウェア創造事業「未踏ユース」に水島宏太さん(情報4年)のプロジェクトが採択された。



ART

たすめば、絵が語りかけてくれる」と誰も疑っていません。本日は専門家の私でも黙って虚心にたすめんでも絵は解らないので、満足せず、個々の知的関心、興味に促されて自発的に自らの専門性を築き上げてゆける実力者であると感じています。芸術の世界も真の意味での独立・独学精神が新たな価値を生む知的世界です。

芸術探求のよき道案内 今日芸術

岡本太郎著

たすめば、絵が語りかけてくれる」と誰も疑っていません。本日は専門家の私でも黙って虚心にたすめんでも絵は解らないので、満足せず、個々の知的関心、興味に促されて自発的に自らの専門性を築き上げてゆける実力者であると感じています。芸術の世界も真の意味での独立・独学精神が新たな価値を生む知的世界です。

千差万別、個性溢れる

毎年2学期に入ると、卒業論文や卒業研究のガイダンスが増える。3年生は、題目の決定や指導教員選定で、4年生は提出、発表を目前に控え、慌たたくなっているだろう。

本学で卒業、卒研を必修にしているのは7学群15学群のうち6学群14学群。制度や方法は、各学群・専門学群でさまざま。特色ある取り組み、カリキュラムなどを紹介する。(本紙・平野奈央Ⅱ比較文化学類、吉田ちひろⅡ人間学類、石川瀬理Ⅱ国際総合学類)



日・日は、2年次の2月から卒業に関するガイダンスを実施している(2G407)

比文

主査1人と副査2人を決定することを義務づけている。副査2人を必須にしているのは、比較文化学類だけだ。専任教員なら、2人のうち1人は他学群・専門学群から選ぶことも出来る。「専門に縛られず、学

際的な視点で研究を行って欲しいから」とカリキュラム委員長の立川孝一教授(人文社会)は説明する。ゼミナール制度を導入していない同学類は、専攻分野によってテーマ設定が左右されることはない。立川教授は「1年生のうちから卒業論文で何を取り上げるかを念頭において授業を選

択して欲しい」と話す。テーマに応じて、他専門分野の教員に副指導を受けることをむしろ推奨している。たとえば「フランスの柔道」をテーマにした学生は、体育専門学群の教員を副査に選んだ。

立川教授は「学生が、やりたいと言えども何でも付き合おう」と話す。自由度の高い研究制度を大いに活用し、「あつと驚く」視点で研究を進めて欲しいと話している。

学際的な視野を提供

マークシート方式で行われ、各専門分野の教員が、ひとり10〜20問ずつ問題を

出題する。国家試験の過去問題を研究し、傾向に沿って出題する教員もいる。毎年、95以上の学生が合格する。そのうちの98は医師国家試験にも合格している。PC

MEは「精神、体力、学力的にも大変な試験。卒業試験合格が、医師国家試験合格のバロメータになる」と

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

主査・副査

一部学群・専門学群における、主査・副査の選定方法は紹介する。

◆社会 指導教員が主査となる。社会学類はゼミナール制度を採用しているため、履修したゼミの教員が指導教員となる場合が多い。学生が希望すれば、履修しているゼミの教員以外を指導教員にすることもできる。

◆日本語・日本文化 3年次の10月に、指導教員の希望調査を行う。各自のテーマに応じて教員と相談し、11月中旬に決定する。4年次の5月中旬に主査、副査が決定する。主査は指導教員がそのまま担当する。副査は学生のテーマに応じて、カリキュラム委員が選ぶ。

◆国際 主査は指導教員が務め、副査は研究テーマに関係がある教員を国際のカリキュラム委員会が選定する。副査が指導に携わることはない。

◆社会工学 学生と指導教員との面談などで決める。1人の教員が指導できるのは2〜4人だ。希望者が多い場合、成績や履修状況を考慮して所属する研究室を決定する。

◆図書情報 専門分野のゼミナールを担当する教員が指導教員と主査を兼任する。副査は、主査の教員が自分と近い専門分野を研究する図情の教員から選ぶ。

◆図書情報 4年間の学業成績と卒業論文が優秀だった学生2、3人を表彰する。選ばれた学生には、表彰状とガラス製の時計が贈られる。

表彰制度

◆図書情報

都市計画主専攻では、同専攻同窓会による表彰制度が設けられている。

◆社会工学 また、同専攻では、卒業論文集を制作している。来年度からは全専攻で制作することになった。

生物

90以上の学生が大学院へ進学する生物学類は、院での研究基盤作りとして卒業研究が課せられている。研究は発表会で口頭発表し、A4の用紙1枚の報告書を出す。

佐藤孝学類長(生命環境・教授)は「学群の研究では、データが足りない。修士論文に向けて、少しでも実験を先に進めた方が有意義だ」と話す。指導教員によっても、論文の提出を求める場合もあるが、義務づけられてはいない。

研究テーマは、3年次の研究分野ごとに分かれ、4年次は、論文の提出を求める場合もあるが、義務づけられてはいない。

◆人間 心身障害学専攻は、学生が希望するテーマに沿って、2〜3学期に決定する。研究室を訪問し、2月には指導教員、研究テーマを確定しなければならぬ。研究室に入室し、教員との個別相談がスタートする。

◆情報 ガイダンスや研究室訪問などを参考に、学生が所属する研究室を決定する。指導教員、所属したい研究員を選ぶ。

◆社会工学 3専攻のうち構成専攻とデザイン専攻で、卒業論文と卒業制作の提出を義務づけている。美術史や芸術学を学ぶ芸術専攻は、卒業論文のみが課せられている。

◆社会工学 卒業論文・卒業制作には、4年間で学んだ基礎を活かし、独自の視点で新しいデザインや制作方法に取り組みることが求められる。

◆社会工学 山中教授は「著書は芸術家の研究ではなく、独創的な発想、研究をして欲しい」と話している。

ハードな卒業試験

医学専門学群は、卒業論文や卒業研究を課さない。その代わりに、ハードな卒業試験が行われる。カリキュラムの編成から実施、評価までを行う医学教育企画評価室(PCME)は「医学生は、6年間で医学をまんべんなく学ぶ必要がある。論文や研究よりも、試

験の方が習熟度の目安になる」と話す。臓器移植や医療事故など法律と深く関わる知識を問う「医療総論」以外は、医師国家試験と同様、5択の試験の方が習熟度の目安になる」と

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、

話す。論文を書かずに進捗する学生も少なくない。PCMEは「臨床医を希望する学生が多いので、学群生のうち2割の学生が論文を作成する。そのほとんどが、大学院への進学を希望する学生だ。執筆は必修でないため、



卒業制作に取り組み学生も多い(芸術工房、木彫室で)

修士論文の基礎固め

芸術学研究者や造形作家、デザイナーを育成する芸術専門学群は、毎年2月(ついでに美術館)は市吾妻で行う「卒業制作展」に力を入れている。全3専攻から作品を出展し、芸術専攻の学生は卒業論文を出展する。毎年、研究科の修了展と合わせ、3週間で4000人以上が来場する。地域住民も来場し、に

研究科から一点で、作品は

研究科から一点で、作品は

研究科から一点で、作品は

研究科から一点で、作品は

芸術

芸術学研究者や造形作家、デザイナーを育成する

芸術専門学群は、毎年2月

ついでに美術館)は市吾妻

で行う「卒業制作展」に力

を入れている。全3専攻から

作品を出展し、芸術専攻の

学生は卒業論文を出展する。

毎年、研究科の修了展と

合わせ、3週間で4000人

以上が来場する。地域住民

も来場し、に

研究科から一点で、作品は

学類別卒論事情

社会

専門科目を重視

卒業論文や研究を履修しなくても、卒業資格が得られるのが社会学類政治学、経済学、法学専攻だ。社会学専攻は卒業論文の提出が求められる。

卒業論文や研究を履修しなくても、卒業資格が得られるのが社会学類政治学、経済学、法学専攻だ。社会学専攻は卒業論文の提出が求められる。

卒業論文や研究を履修しなくても、卒業資格が得られるのが社会学類政治学、経済学、法学専攻だ。社会学専攻は卒業論文の提出が求められる。

人間

必修授業で指導

人間学類は、修業の最終目的として卒業論文に重点を置いて指導する。研究テーマをどう設定するか、どんな調査方法があるかなどの

人間学類は、修業の最終目的として卒業論文に重点を置いて指導する。研究テーマをどう設定するか、どんな調査方法があるかなどの



男女の違いを問わず、世代を越えて、減量は、いまや国民的悲願だ。ダイエット商品と広告の氾濫は、減量がいかに難しいかを如実に物語っている。そんな中において、先端学際領域研究センター(TARA)で田中喜代次教授(人間総合・スポーツ医学)らの研究チームが取り組んでいる「オーダーメイド減量プログラム」が注目を集めている。

オーダーメイド減量プログラム 効果的な減量法を開発

体質の個人差に着目

効果的な減量法を開発

田中教授らが着目したのは体質の個人差。人のDNAの塩基配列は99.9%まで同じ。わずかに

田中教授らが着目したのは体質の個人差。人のDNAの塩基配列は99.9%まで同じ。わずかに



運動指導をする田中教授

年齢を60歳と比較すると、最大24歳の開きが出る。減量が奇せる漠然とした願望が数字によって根拠を与えられたといえるだろう。

情報

情報学類は、学類や各研究室のホームページを最大限に活用している。卒業論文に関するガイダンス情報



過去の卒業論文を参考にする学生(3K201で)

ネットを有効活用

や中間発表の結果、提出された論文の掲載なく、インターネットを利用した広報に力を入れている。

体験談

先輩に学ぶ

指導は、実験の進め方や論文の書き方、表現など多岐に渡る。添削作業は院生が太鼓判を押すまで続く。その後、講師との最終的な内容調整などを行い、担当教員に提出する。池原さんは「卒業後の研究を見据えて、役立つ」と話す。今、院生として学群生の相談に乗っている。

卒論を活かし

八木秀徳さん(経営・政策科学研究科2年)

国際総合学類3年次の9月からアメリカ・カリフォルニア大に1年間、留学した。4年次の8月に帰国し、10月までは院試に追われ、卒業論文に本腰を入れたのは、11月からだ。現在は、ほとんどの学生が独論とゼミを並行して履修している。

卒業生からの手紙

今、僕は都内のレコーディングスタジオでアシスタントエンジニアとして働いています。音楽を録音し、バランスを整える仕事(言えば分かってもらえるでしょうか)。



森安裕之さん

夢の音楽制作現場へ

森安裕之さん(平成15年度工学基礎学類卒)

専門の求人情報が載っているホームページを見つけ、その中の一つのスタジオでアルバイトとして働かせてもらえ、インターネットで音楽

茗溪山脈 体育・スポーツ列伝

伊沢 修二

1875(明治8)年、習所の主幹として、日本明治政府は近代教育を移すの体育教育の基礎を築くため3人の若者を米国に派遣した。その中に、のちに本学体育専門学群の前身である体操伝



60歳のころの伊沢修二

永(4)年、信州高遠藩(長野県高遠町)で、下級武士の家に生まれた。勉学好きの父のもと、みるみる頭角を現し、19歳のとき、洋学を学ぶために上京する。

■体操伝習所主幹に 帰国後、伊沢は東京師範学校に転出、4カ月後に校長補任になった。かたわら、文部大輔田中不二麿が計画していた体操伝習所の初代主幹

招いたリーダーと、後に日本人初の体育教師になる坪井玄道とともに、専門用語の翻訳にとりかかった。クラブを棍棒、ダンベルを垂鈴と訳し、握力や胸囲など、いまに

さらに生徒の身長、体重のほか肺活量、胸囲などを測り、教育効果を検証しようとした。このとき日本で初めて身体計測が行われている。

■晩年の伊沢 体育教育の開拓者となった伊沢は、その後文部官僚として、台湾民政府学務部長や東京高師校長などを歴任。体操と疾病の関係を研究し、現在のスポーツ医学の基礎を築いた。晩年は東京小石川で聾啞矯正の社会事業に携わっている。

1917(大正6)年、67歳で亡くなったとき、伊沢の葬儀に首相寺内正毅や山原有朋、原敬ら多くの要人が参列したという。(本紙・斎藤電太二比較文化学類)

渡米で学んだ文化の違い

体育教師育成に取り組み

ジョン万次郎と中浜万次郎に英語を学んだ後、大石南校(東京大学の前身)に入学する。卒業後は、文部省、工部省、愛知師範学校校長を歴任した。

■留学 米国留学によって伊沢は、体育教育の重要性を

として、開設に携わる。当時、学校教育で重視されたのは、国語や算数など知識教育で、体育教育は未開拓の分野だった。専門の教員もいず、専門用語の翻訳さえ進んでいなかった。伊沢は、米国から体操教師として

リンドの助言を受けながら、伝習所で行う教育方針を具体化していった。「新体操指導手続」としてまとめられた文書には、入学試験の方法・指導方法から体操場の建設方法までがまごまご記されている。

リンドの助言を受けながら、伝習所で行う教育方針を具体化していった。「新体操指導手続」としてまとめられた文書には、入学試験の方法・指導方法から体操場の建設方法までがまごまご記されている。

リンドの助言を受けながら、伝習所で行う教育方針を具体化していった。「新体操指導手続」としてまとめられた文書には、入学試験の方法・指導方法から体操場の建設方法までがまごまご記されている。

リンドの助言を受けながら、伝習所で行う教育方針を具体化していった。「新体操指導手続」としてまとめられた文書には、入学試験の方法・指導方法から体操場の建設方法までがまごまご記されている。

リンドの助言を受けながら、伝習所で行う教育方針を具体化していった。「新体操指導手続」としてまとめられた文書には、入学試験の方法・指導方法から体操場の建設方法までがまごまご記されている。

リンドの助言を受けながら、伝習所で行う教育方針を具体化していった。「新体操指導手続」としてまとめられた文書には、入学試験の方法・指導方法から体操場の建設方法までがまごまご記されている。

関東秋季リーグ

バレー、ハンドなど快調

男子バレー 4季連続でV達成

連勝記録はストップ

バレー

秋学期関東バレーリーグ戦が9月10日から10月9日までNECニューライブラザ(東京都・府中市)などで行われた。本学男子は予選・決勝リーグを通じて、9勝1敗で優勝、王者の座を守った。

そのため翌9日の最終戦、早稲田大学との試合はいつにもまして「負けられない試合。気合いが入っていた」と都沢凡夫監督(入

間総合・教授)はいう。第一セットは両チーム共にミスが目立つスタートだった。サーブレシーブが

上手くかみ合わせ、失点を続けたが、中盤からペースを持ち直す。石島、志賀景(同3年)らが攻撃的に攻め、25-21で勝ち取った。波に乗った第2セット、

石川、志賀の3枚ブロックで早稲田の攻撃を阻む。試合序盤と比べ、サーブレシーブのミスも少なくなっていた。「集中して普段通りのバレーが出来た証拠だ」と都沢監督。25-18でストレート勝ちした。

関東リーグでは昨年の春季から4季連続の優勝を果たした。都沢監督は「後半はいつものチームプレーを展開できた」という。今後は12月に行われる全日本インカレに照準を合わせ、調整していくという。

個人賞は次の通り。▽最優秀選手賞、スパイタグ賞、サーブ賞、石島雄介(体育4年)▽セッター賞、菅直哉(同2年)



早稲田の攻撃を阻む3枚の壁(NECニューライブラザで)

ハンドボール

男子 2季ぶり17回目の優勝 女子 春季に続き惜しくも2位

ハンド

関東学生秋季リーグの最終戦が女子は10月1日、男子は2日、国士館大多摩校舎



9得点の活躍を見せた岩永(国士館大多摩校舎体育館で、提供=白井章さん)

舎体育館(東京・多摩市)などで行われ、男子が8勝1分けで、2季ぶり17回目の優勝を飾った。女子は6勝1敗で、春季に続き、2位だった。

後半5分、岩永生(体育4年)のゴールで同点に追いつくと、13分からは4連取し5点差に引き離されたが、そこから「速攻で突破された(大西武三監督・人間総合教授)というように、19分から、日体大に4連取され、30-29と一点差に迫られた。ここでタイムアウトを取り、相手の流れを止める。その後は、一点を取り合う激しい展開

となった。残り時間5秒で、日体大の7メートルスローが決まり、34-34の同点とされたが、逆転は許さなかった。

11月5日から、神奈川県川崎市を会場に、全日本学生選手権が開幕する。2連覇の鍵は、リーグを誇るディフェンスだ。大西監督は「いま以上に厳しいプレッシャーをかける守りをしたい」と話している。

個人賞は次の通り。▽男子、最優秀選手賞、船木浩斗(体育4年)、優秀選手賞、岩永生(同)、山貴純央(同)、海道衛秀(同3年)▽女子、優秀選手賞、樋口真央(同)、柴田久美子(同4年)▽下地ゆいの(同2年)

女子バスケ

日大に次ぎ2位 実業団との練習試合も

バスケ

第55回関東女子学生バスケットボールリーグが9月3日から代々木第二体育館などで開幕した。昨年度の王者である本学は12試合を終え、11勝1敗。全勝の日本体育大に続き2位。

現在得点王、スモールフォワードの中藤麻佐美(同4年)がリバウンド2位、桜田は3ポイント部門でも3位につけた。

春の関東学生選手権大会で大敗した白鷗大戦が最大の山場だった。初戦を96対76で勝つと、翌日も87対57で勝利し、雪辱を果たした。

9月3日に行われた初戦、第1ピリオドは、白鷗に切り抜け、68対63と逆転する。第4ピリオド、桜田

らを中心に3ポイントで得点を重ねて引き離し、勝利した。

本学は春の関東女子学生選手権では3位に甘んじた。司令塔、田淵明日香(テニス1)、平成16年度体育専門学群卒)が抜け、手薄となったガード陣を強化するため、夏場はデンソー、トヨタなどの実業団と実戦を3試合組んだ。同部監督の内山治樹助教授(人間総合)は「慎重派の内田と突貫娘の有明。両者とも判断力が付き、ボールを運べるようになった」と評価している。

◇ 女子は、東京女子体育大に26-28で敗れた。前半開始からリードを許したが、28分に柴田久美子(体育4年)が同点ゴールを挙げ、29分には内富仁美(同3年)が加点、引き分けに持ち込んだ。

後半、立ち上がりから一点を争う展開だった。だが18分以降、ノーマークのシュートを外すなど、なかなかゴールを決められない。24分、29分に得点し、26-28としたが、そのまま試合は終了した。

勝負どころで決められなかったことが、勝敗の分水嶺となった。水上二監督(人間総合・教授)は、4連覇がかかるインカレに向けて「気持ちの強さが必要」と話した。

全日本学生体重別選手権

3冠宿願の初優勝

秋本鮮やか背負い投げ 杉本はオール一本勝ち



秋本啓之



福見友子



杉本美香

柔道



学生日本一を決める全日本学生体重別選手権大会が10月1、2の両日、日本武道館(東京・千代田区)で行われ、本学勢が活躍した。男子では秋本啓之(体育2年)が、女子では福見友子(同)と杉本美香(同3年)がそれぞれ初優勝した。

1日に行われた男子66kg級決勝で秋本は、梅津昭(東海大)と対戦した。試合前に岡田弘隆監督(人間総合)は、「練習試合のつもりでリラックスしていき」と声をかけた。期待に応えるように開始1分20秒、秋本得意の背負い投げが決まり、本得意の背負い投げが決まり、2年連続して準優勝に終わった。

2日、女子78kg級に出場した杉本は、決勝まで全て一本勝ち。決勝は、馬籠恵子(東海大)と対戦した。序盤は防戦に徹し、後半に勝負をかけた。その読み通り開始4分1秒、上四方固めが決まり一本勝ち。これまで2年連続して準優勝に終わった。

福見対杉野沙由理(体育4年)と本学勢同士の対戦となった。福見は今大会から不調が続く、得意の背負い投げが決まらなかったが、優勢勝ちで初優勝した。「先輩に胸を借りるつもりで思い切っていた」と話した。

同じく、女子48kg級決勝は福見対杉野沙由理(体育4年)と本学勢同士の対戦となった。福見は今大会から不調が続く、得意の背負い投げが決まらなかったが、優勢勝ちで初優勝した。「先輩に胸を借りるつもりで思い切っていた」と話した。

水泳



佐藤自己ベストで優勝 宮下は3位に入賞

全国学生が日本一を争う第81回日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)が9月24日の3日間、大阪府門真市のなみはやドームで開催された。本学の成澤祐一(明治大)が佐藤のベスト2分14秒14を上回る2分13秒00を記録していた。「決勝は12秒台勝負」と踏んで前半から飛ばしたが、「作戦通りの泳ぎができた」と自己ベストのタイムに満足気だった。50歳で日本記録に迫る26秒台中盤で折り返すことを意識し、26秒49で泳いだ。呼吸もは世界レベルに及ばない。少ずつ記録を伸ばし、世界でも優勝したい」と抱負を語った。

宮下はライバル森田智己(セントラルスポーツ)、ユニバーシアードで活躍した山口雅文(中央大)に負けしたが、「作戦通りの泳ぎができた」と自己ベストのタイムに満足気だった。50歳で日本記録に迫る26秒台中盤で折り返すことを意識し、26秒49で泳いだ。呼吸もは世界レベルに及ばない。少ずつ記録を伸ばし、世界でも優勝したい」と抱負を語った。

後半もペースを落とすことなく、初のインカレを制した。高校時代のインターハインカレから数え、学生選手権4連覇となる。日本代表の派遣標準記録2分13秒19も切り、「自信が湧いた」と佐藤は語る。

宮下は「最後のインカレで表彰台を飾ることができてよかった。負けたのは悔しいが、それが冬の練習に活かす」と話した。

佐藤は「最後のインカレで表彰台を飾ることができてよかった。負けたのは悔しいが、それが冬の練習に活かす」と話した。

第1回全日本ロープスキッピング選手権

本学から2選手世界へ

粕尾はアジア新記録樹立

第1回全日本ロープスキッピング選手権大会兼第6回世界選手権大会選考会が9月18日、埼玉県狭山市民総合体育館で開催された。本学の粕尾将(体育2年)は4種目全を制し、個人総合で優勝した。三村大輔(体育研究科2年)も準優勝し、2人は世界大会への出場を決めた。大会は縄跳びの技を組み合わせて演技するフリースタイル、時間内にかけ足で跳ぶ回数を決める30秒スピード、3分スピード、連続三重跳びの順に行われた。粕尾は30秒、3分スピードの2種目で85回、3分7回の自己ベストを更新した。このうち30秒スピードはアジア新記録だった。フリースタイルでは、縄跳びでも1位に輝き、全種目を回しながら宙返りする技

を初めて披露した。技の幅を広げようと、苦手だった宙返りの練習に取り組みできた。8月から連続して成功するようにになり、急ぎょ演技に盛り込んだ。粕尾は「失敗しやすい技で挑戦する選手は少ない。成功して良かった」と振り返る。練習では調子が悪かった三重跳びでも1位に輝き、全種目を回しながら宙返りする技

三村は最初の3種目で粕尾に次いで2位と順調に得点を重ねた。最後の三重跳びも「まだ体力が残っていない」と話した。

三村は最初の3種目で粕尾に次いで2位と順調に得点を重ねた。最後の三重跳びも「まだ体力が残っていない」と話した。



新技に挑戦したフリースタイルの粕尾

現在、2人は来年7月にトロントで行われる世界大会に向け、練習を始めている。粕尾は「今大会の記録を語った。」

現在、2人は来年7月にトロントで行われる世界大会に向け、練習を始めている。粕尾は「今大会の記録を語った。」

現在、2人は来年7月にトロントで行われる世界大会に向け、練習を始めている。粕尾は「今大会の記録を語った。」

現在、2人は来年7月にトロントで行われる世界大会に向け、練習を始めている。粕尾は「今大会の記録を語った。」

現在、2人は来年7月にトロントで行われる世界大会に向け、練習を始めている。粕尾は「今大会の記録を語った。」

現在、2人は来年7月にトロントで行われる世界大会に向け、練習を始めている。粕尾は「今大会の記録を語った。」

と対戦。一本負けを喫し、銀メダルに終わった。2連覇はならなかった。男子81kg級の小野卓志(16年体育専門学群卒)は、今大会が初出場だった。2回戦で敗退したが、敗者復活戦で勝ち抜き、銅メダルを獲得した。

男子73kg級の高松正裕(平成16年体育専門学群卒)は、1回戦で敗退した。国別団体トーナメントでは、金丸雄介(体育研究科2年)、小野、谷本がそれぞれ出場した。男子は銀メダル、女子は銅メダルとなった。

男子73kg級の高松正裕(平成16年体育専門学群卒)は、1回戦で敗退した。国別団体トーナメントでは、金丸雄介(体育研究科2年)、小野、谷本がそれぞれ出場した。男子は銀メダル、女子は銅メダルとなった。

男子73kg級の高松正裕(平成16年体育専門学群卒)は、1回戦で敗退した。国別団体トーナメントでは、金丸雄介(体育研究科2年)、小野、谷本がそれぞれ出場した。男子は銀メダル、女子は銅メダルとなった。

男子73kg級の高松正裕(平成16年体育専門学群卒)は、1回戦で敗退した。国別団体トーナメントでは、金丸雄介(体育研究科2年)、小野、谷本がそれぞれ出場した。男子は銀メダル、女子は銅メダルとなった。

男子73kg級の高松正裕(平成16年体育専門学群卒)は、1回戦で敗退した。国別団体トーナメントでは、金丸雄介(体育研究科2年)、小野、谷本がそれぞれ出場した。男子は銀メダル、女子は銅メダルとなった。

男子73kg級の高松正裕(平成16年体育専門学群卒)は、1回戦で敗退した。国別団体トーナメントでは、金丸雄介(体育研究科2年)、小野、谷本がそれぞれ出場した。男子は銀メダル、女子は銅メダルとなった。

男子73kg級の高松正裕(平成16年体育専門学群卒)は、1回戦で敗退した。国別団体トーナメントでは、金丸雄介(体育研究科2年)、小野、谷本がそれぞれ出場した。男子は銀メダル、女子は銅メダルとなった。

記録ファイル

野球 首都大学野球秋季一部リーグ(9月10日から平塚球場など)▽筑大4-1独大▽筑大1-0独大▽筑大7-5日大▽筑大4-8日大▽筑大0-1日大▽筑大0-4東海大▽筑大2-1東海大▽筑大3-2帝大▽筑大1-9帝大▽筑大0-9帝大

サッカー 関東大学サッカーリーグ後期(9月3日から、西が丘サッカー場など)▽筑大1-2亜大▽筑大1-1明大▽筑大2-2中大▽筑大1-3東農大▽筑大3-3日大▽筑大4位(10月1日、第16節終了時点)

ラグビー 関東大学対抗戦A(9月17日から秩父宮ラグビー場など)▽筑大17-47明大



顔

昨年度、関東女子学生リーグ、学生選手権を制し、今年も現在2位につける女子バスケット部。そのゴール下の要が「走るセンター」鈴木あゆみ(体育2年)だ。

今年4月には、大学生から3人しか選ばれなかった全日本代表候補に入り、ユニバーシアードの代表にも選ばれた。身長178センチの恵まれた体格とリンクに手が届くジャンプ力。センターとして魅力的な能力を備える上、速攻の先頭を走るスピードも兼ね備える。内山治樹監督(人間総合・助教)が「将

来的にはガードにつかせたい」と評価するほど「動ける」。190センチを超え選手を揺る揺る海外チームを相手に鈴木は「動き」が買われた。

「動ける」鈴木が、ユニバでは勝手が違った。190センチの選手に阻まれると、国内では打てたシュートがブロックされる。フェイクやフックシュートなど、「動き」で勝負すると決定率は34%止まり。「高さに頼っている自分に気づいた」元来、フォワード気質だ。ポストプレーで確実に点が取れる鈴木だが、「楽しさを求めるとゴール下にはどまれない。大学に入って外か

光る「走れる」センター



全日本代表に選ばれた

鈴木あゆみ (体育2年)

成果はリーグに表れている。190センチのセンターを擁する春の選手権の覇者拓殖大戦、第2ピリオドに入り、鈴木が確実にシュートを決め、37対27と拓殖大を突き放して勝負を決めた。鈴木は17点を挙げ、今リーグの決定率も51%だ。好成績でも「まだまだバリエーションが足りない。来年からは3ポイント」と貪欲な姿勢を見せる。「走れるセンター」はゴール下にとどまらな

い。(本紙・沖浦裕明Ⅱ比較文化学類)

つきまとい行為

2000年11月にストーカー規制法が施行されて...

3月に共通しているのは、実際にいた男女が別...



「なぐせ! ストーカー!」と、ポスターで注意を呼びかける

ズームアップ

ここから始まる事例が多い。注意しても迷惑行為を繰り返す場合は、警察署長から警告が出る...

警告処分、すでに3件も

「依存しない個性」持って

「なぐせ! ストーカー!」と、ポスターで注意を呼びかける。電話やメールを頻繁にする...

「なぐせ! ストーカー!」と、ポスターで注意を呼びかける。電話やメールを頻繁にする...

取材メモ

あったのは107件。昨年の同期の86件より大幅に増加した。

「駅前の乗り物盗難の被害者は、5割以上が筑波大生だ」と同署はいう。

増加する自転車の盗難

「筑波大生からなら簡単に盗めると思われている」と同署は警告を発している。

ネットに学ぶ信頼の価値

帰宅してすぐ、インターネットの巨大掲示板「ちゃんねる」のニュー...

椅子から

「民信くは立はず」とは論語の一節だ。社会は、その構成員が信頼し合うことで成り立つ。

静脈認証システム 18日から登録開始

全代会「試験運用求める」

学生宿舎玄関に設置されたものの、使用を延期していた静脈認証システムが10月17日から運用を開始する...

大学は9月15日までに一部の棟での試験運用を実施し、技術、管理責任者を交えた公聴会を2回開いた。

「登録作業はシステム運用を委託するデジコム(本社)東京・新宿区」と協力し、24時間体制で対応することになる。

また、▽身体障害者への対応▽外国人居住者への説明などについても質問が出た。

キャリア支援交流会 社会人院生が相談役に

ビジネス研究科を中心とした東京地区の社会人向けキャリア支援交流会が9月24日、秋葉原ダイビル...

「外資系企業の場合、出産・育児休暇を取りやすいようだ」と答えた。

収益金16万余円を贈る

このほかにも「職種では無く、給与額や、保証制度で会社を決めるのはどうか」「転職をする人がどのくらいいるのか」などの質問が出た。

天上大風賑わう

伝統文化系サークルが合同で、活動を紹介するイベント「天上大風」が9月18日午前10時半から開学記念館で行われた。

会場中央の舞台では、邦楽部や津軽三味線無弦楽の演奏が行われた。



好評だったHOLLYの演奏(提供=YEH)

第31回雙峰祭「めぐりあい、つくば」

TX効果 雨でも賑わう

名物企画に賛否両論 遠方からの来場者も

第31回雙峰祭は10月8日から10日までの3日間、行われた。初日は、小雨が続いたものの、2日目からは、天候も持ち直した。今年はTXが開通し、そのせいか、埼玉、東京などからの来場者が目立ち、祭りは例年以上の盛り上がりを見せた。(本紙・齋藤竜太比較文化学類 鈴木真理 藤井沙織社会学類 兵庫 義夫図書館情報学専攻)

土砂降りにもかかわらず、講堂でお笑いライブが始まった。雨にたたられた学園祭だった。学園祭初日の8日。午後1時、雨足が強くなったため、飲食系の模擬店は、販売を中止し、松美池ステージは、音響設備の関係で、雨がやむ3時まで、催しを中断した。ちょうどその頃、大学会館1階



遊戯系の模擬店に集まる子どもたち

学研企画 大学の学問アピール 色とりどり17企画

雙峰祭ならではの学術的な催しとして、今年も学内研究企画が注目を集めた。今回は、人気企画としてすっかり定着した物理工学系研究室の「骨粗鬆症のMRI診断」や世界遺産専攻の「What's Next 世界遺産」など昨年より3企画多い、17企画が参加した。

2日目に開催された農林技術センター主催の「食・農・環境が未来をつくる」は、2A209教室でパネ

ル展示をし、屋外では同センターで栽培した米、紫イモ、梨などの農作物を販売した。昨年まで農林技術センターで行ってきたが、今年

は第二学群で開催、来観者が大幅に増えた。パネル展示は、畜産や植物、農業機械の研究について紹介した。千葉原から来たという男性は、「仕事柄興味がある。昨年と違いパネル展示だけでは、具体的な

なことがわからず残念だ(53歳・男性、農業)と話した。世界遺産専攻の学生による企画「What's Next 世界遺産」は大学会館1階

から4台を増設。実行委員が学内を撮影し、学園祭の様子を紹介した。トラブルで遅れたものの、2日目夕方から大学会館地区と第三

で練習し、雙峰祭や天上大風を中心に、つくば市内の夏祭りなども公演している。

おばあさんが手をたたいて聴いてくれたり、子どもに太鼓をたたかせたりして、地域の人からも好評だ。代表の栗原沙織さん(資源3年)は「最近知名度が上がり、色々なイベントに呼んでもらえる」と言う。

9月に筑波大学留学生会の歓迎会で演奏してから留学生の人数が増えた。今では7人の留学生が参加している。アメリカからの留学生「マン・リサさん(芸術4年)は「日本の格好良さに惹かれて13年間和太鼓を続けて

う親子は、「大人も子供も楽しめた。手作り劇がよかった」と語った。午後2時、第三学群食堂で行われた「受験生バックアップ企画」筑波大はほん

とのことには200人近い筑波大志望者が参加し、一時入場制限も。多くは関東近県に住む高校2年生だったが中には高校1年生や、兵庫県から来たという高校生もいた。

立食パーティー形式で参加者はお菓子を食べてながら自由に相談員の本科生と話をした。内容は受験、大学生活、さらには就職まで及んだようだ。

ただ、参加者に対し相談員が23人しかいなかったことと、学類ごとのブースを作らず、スタッフの名札もわからなく、戸惑った参加者も多かった。

東京の高校1年生、竹内昌子さんは「入試の話も聞けて良かったが、志望する学類の相談員がどうも見

つからなかった」と残念そうだった。水戸市から来た高校2年生、堀口義明さんは「話を聞けただけの説明会の方が楽」と話した。

最終日、後夜祭は午後6時10分から始まった。計38人の学生が舞い踊る男祭女祭が行われた後、色とりどりの花火が打ち上げられた。慣例のなる割り後は、DJにRUKUさんらを招いてクラブイベントが開催された。

時間意見を交わした。卒業生からは「今後筑波大学の学際性は高くなっていくのか(社工・公務員)」「再編案はまるで私大のようだが、幅広く学べる筑波大らしさが埋没するのでは」(図書館情報大・新聞社勤務)「COEの採択数が、大学の実力の割に少なすぎる(農林・製菓メーカー)」などといった厳しい意見があった。

学内生中継プロジェクト 周知進み利用者増

昨年からはじまった学内生中継プロジェクトが今年も

行われた。企画が始まる前10時から午後9時までの

終日、UNITEと松美池の西ステージの模様を学内に設置されたモニターテレビやHPで中継した。

最大同時接続数は昨年より増え62だった。「周知が進んだ結果」と実行委員は

いる。学内のモニターは、機材が雨に弱いため、3日には引き払われた。

今年はずり増え、実行委員が学内を撮影し、学園祭の様子を紹介した。トラブルで遅れたものの、2日目夕方から大学会館地区と第三

で練習し、雙峰祭や天上大風を中心に、つくば市内の夏祭りなども公演している。

おばあさんが手をたたいて聴いてくれたり、子どもに太鼓をたたかせたりして、地域の人からも好評だ。代表の栗原沙織さん(資源3年)は「最近知名度が上がり、色々なイベントに呼んでもらえる」と言う。



ときめき太鼓塾

太鼓塾の練習風景だ。02年に活動を始めた新しいサークルだ。現在、部員は28人。大学から太鼓を始めた人がほとんどだ。週に2回、2D203

で練習し、雙峰祭や天上大風を中心に、つくば市内の夏祭りなども公演している。

おばあさんが手をたたいて聴いてくれたり、子どもに太鼓をたたかせたりして、地域の人からも好評だ。代表の栗原沙織さん(資源3年)は「最近知名度が上がり、色々なイベントに呼んでもらえる」と言う。

9月に筑波大学留学生会の歓迎会で演奏してから留学生の人数が増えた。今では7人の留学生が参加している。アメリカからの留学生「マン・リサさん(芸術4年)は「日本の格好良さに惹かれて13年間和太鼓を続けて

最終日、後夜祭は午後6時10分から始まった。計38人の学生が舞い踊る男祭女祭が行われた後、色とりどりの花火が打ち上げられた。慣例のなる割り後は、DJにRUKUさんらを招いてクラブイベントが開催された。

時間意見を交わした。卒業生からは「今後筑波大学の学際性は高くなっていくのか(社工・公務員)」「再編案はまるで私大のようだが、幅広く学べる筑波大らしさが埋没するのでは」(図書館情報大・新聞社勤務)「COEの採択数が、大学の実力の割に少なすぎる(農林・製菓メーカー)」などといった厳しい意見があった。



太鼓で伝える和の魅力

人に満たす、楽器もなかった。練習ではバケツにテーブルクロスを張って太鼓の代わりに使った。本番は太鼓をレンタルし

「太鼓のリズムで部員もお客さんとも一体できる」と栗原さんは魅力を語った。(本紙・鈴木真理社会学類)

附属図書館

湯島聖堂の復元展示 教員の研究成果示す

孔子を祀り、学問の府として知られる湯島聖堂を復元し、その研究成果を展示する江戸前期の湯島聖堂が10月30日まで、中央図書館の貴重書展示室で行われる。

彫刻、CGといった教員の研究を活かし、創立当初の礼拝空間をよみがえらせることに成功した。復元作品だけでなく、制作の様子もCGやパネルなどを使って紹介している。

フォトコンテスト

12月7日まで募集

学生向け広報紙「STUDENTS」がフォトコンテストを行う。募集する写真のテーマは「筑波大学」。学内行事や課外活動、学内の自然など、本学に関するものであれば自由だ。過去の写真も応募可能。

記者・イラストレーター募集

説明会を開催します

編集部では、新人記者募集のための説明会を開催します。10月19、20日の午後7時から編集室で行います。参加希望者は、6時50分に附属中央図書館まで来て下さい。

催事

sound.jp/utsh/

◆遠山慶子&ウィーン・フィルメンバーによる演奏会 10月30日午後2時から、つくばセンタービル・ホールで開催される。

演奏会

◆つくばエクスプレス開通記念企画「ラン展」10月30日から11月6日まで、筑波実験植物園で。開演時間は午前9時から午後4時まで入園できる。期間中、休園日はない。

シンポジウム

◆筑波大学芸術学シンポジウム「美術史における環境―大学とミュージアムの未来」10月29日午後1時から、総合研究棟D棟1階公開講義室で開催。入場無料で、参加は自由。問い合わせ029-853-2824(寺門)まで。

広島県人会2人目の女会長

藪田 愛優美さん(芸術2年)

325店舗が軒を連ねた今年の雙峰祭。ひとさわ威勢のいい模擬店が、「広島風お好み焼き屋」だった。サークルやクラス単位の出店が多い中で、この日は異色の広島県人会のお店だ。連日雨に見舞われたものの、3日間で合計1300枚、約30万円を売り上げた。県人会約40人の中心となつて、引つ張ったのが藪田愛優美さん(芸術2年)。

県人会設立から20年 会員率いて伝統守る

日、OB・OGを囲んだ祝賀会をホテル東雲(つくば市)で開いた。地元広島県からは、来る者よ来る者、去る者よ去る者が続々と集まった。4年前から、地元・広島のおタフクソールからソールや鉄板、揚げ玉などを無料で提供してもらっている。OB・OGの窓口も務めた。最初は助けられてばかりだった。今は会長として立派な風格すら漂わせている。そんな藪田さんの原動力は「広島が大好きだから」に尽きる。藪田さんの、来年2月までの任期が県人会を大きく前進させていくだろう。(本紙・右川瀬里 国際総合学類)

Who's Who?



学園祭でお好み焼きを焼く藪田さん

325店舗が軒を連ねた今年の雙峰祭。ひとさわ威勢のいい模擬店が、「広島風お好み焼き屋」だった。サークルやクラス単位の出店が多い中で、この日は異色の広島県人会のお店だ。連日雨に見舞われたものの、3日間で合計1300枚、約30万円を売り上げた。県人会約40人の中心となつて、引つ張ったのが藪田愛優美さん(芸術2年)。

大きな組織のため、連絡メールを送るのにも一苦労する。「メールが届いたか確認するのに丸一日かかったこともあった。当日は雨にも見舞われ、学園祭実行委員との事務的な手続き、OB・OGの窓口も務めた。最初は助けられてばかりだった。今は会長として立派な風格すら漂わせている。そんな藪田さんの原動力は「広島が大好きだから」に尽きる。藪田さんの、来年2月までの任期が県人会を大きく前進させていくだろう。(本紙・右川瀬里 国際総合学類)

次号は

11月14日(月)

発行予定です

大学会館書籍部ベストセラー

Table with 3 columns: Rank, Title, Author/Publisher. Includes titles like '恋バナ(赤)(青)', '土の中の子供', 'ハッピーバースデー'.

9月の1位は、Yoshiの「恋バナ(赤)(青)」。3位は「ハッピーバースデー」。実母に愛してもらえず誕生日も忘れられた11歳のあすかは声を失ってしまった。だが、優しい祖父の家で自然の営みに触れ、「いのち」の意味を学ぶ。今月からドラマが始まった白岩玄の「野アタをプロデュース」は4位。催事は、歴史書懇話会ブックフェア(15%オフ、11月2日まで)

動物の館

◇アオモンイトトンボ◇



体長約30〜35ミリのイトトンボで、池や沼などの周辺に生息する。体が非常に細く、オスは複眼や胸部腹部の先端が鮮やかな青に染められて美しい。メスはオスと同色の個体や地味な褐色のものなど様々。成虫の活動期は4〜10月ごろまで。幼虫は水中の植物の影に潜んでいる。撮影地は兵太郎池。(写真・文)清水将太 生物2年野生動物研究会